

2018年度第6回定例理事会議事録

第6回定例理事会を下記のとおり開催し、議事等に係る質疑及びその経過並びに決定事項等は以下のとおりでした。

記

- 1 名称 2018年度第6回定例理事会
- 2 開催日 2019年2月20日(水) 11:45～12:50
- 3 場所 白井市公民センター・1F会議室
- 4 出席者 出席者、欠席者

理事・監事 野水俊夫、白山良一、日色 進、藤本秀樹、堤信昭、
尾籠和彦、秋山浩輝、人見則夫、石毛利幸、木村光夫、高橋 誠、
駒村武夫、高橋清次、徳丸大祐、中村恭次、名田裕之 坂本龍悦、
新谷朋久、奥村富央、越後朝光、平林 繁、高橋正信、永松 潤、
榎本儀一、渡部裕幸、藤野邦夫、櫻井貞宏、佐野忠信、堀田隆輔
幹事 渡邊康則、小杉 修、中島達夫、森本正樹、上條精久、佐藤 誠、
山田邦彦
青年部 山口裕矢

事務局 染谷敏夫、梅本真己子、塚原幸恵

5 議 事

第1号議事 2019年度会議・講習会・行事等の実施計画の件

議長は、本議事の説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から次の提案があり、直ちに慎重審議した結果、全員一致をもって承認可決した。

2019年度の理事会及び委員会等の会議、各種技能講習会並びに労働安全衛生関係及び健康診断等の各行事などについては、別添の各計画表のとおりとする。

なお、やむを得ず変更する場合は、事前(概ね2週間前)に関係者に連絡するものとする。

*今年度から次年度の各種の年間計画は、2月の理事会で決定し、メール、回覧、ホームページへの掲載等で早期に会員に周知することとする。例年より1～2か月早めることで、会員の利便性等を図る。

第2号議事 産学連携に関する協定の締結の件

議長は、本議事の説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から次の提案があり、直ちに慎重審議した結果、全員一致をもって承認可決した。

産学連携においては、本年度の新規事業として計画しており、過日(1/24)、当協議会3役と日本大学生産工学部との協議を行い、今年度中に協定を締結することとなりました。

つきましては、以下の内容により進めることとする。

- ・目的：大学及び各企業における知的資源、人材資源、物的資源、機会(情報)資源などを相互に活用し、会員企業の様々な課題の解決を図り、技術の向上、新技術

の研究開発、人材の育成・確保、経営改革などの一助とする。

なお、大学においては、学術研究の促進、学生の育成、インターンシップの活用などの効果が見込まれる。

- ・ **提携の相手方**：日本大学生産工学部（習志野市）
〈今後も県内にある大学との協定締結を理系・文系を問わず進める。〉
- ・ **提携・協力事項**：以下のとおりとする。
 - ①企業からの技術等の相談対応に関すること
 - ②企業等からの経営革新、技術開発及び商工農などの企業間連携など、共同研究等の推進に関すること
 - ③大学発ベンチャーの推進・支援に関すること
 - ④インターンシップに係る学生の受入れに関すること
 - ⑤学生と企業間の就職活動に係る取組みの推進に関すること
 - ⑥調査、セミナー等への企画・実施に対する教員、学生、及び授業、研究会等への乙の会員やその傘下企業等の参画に関すること
 - ⑦その他産学連携活動に寄与する事項の推進に関すること
- ・ **その他**：別添協定書（案）のとおりとする。

* 本件については、2月6日の開催した渉外総務委員会及び産業情報委員会の合同会議において、事前協議を行い、了承を得ています。

* 今後も県内大学を中心に提携をして行きたい。（理系、文系各1校程度）

第3号議事 理事会等の組織及び運営等に関する規程の制定の件

議長は、本議事の説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から次の提案があり、直ちに慎重審議した結果、全員一致をもって承認可決した。

第5回理事会において、協議事項として提案しましたが、その後各理事等から意見等がありませんでした。

つきましては、別添（案）のとおりで制定することとする。

《改正等の概要》

当協議会の各種会議等の組織及び運営等に関する規程については、制定されているもの、ないもの、また、あっても不備な事項等があることから、これらをまとめて改正・廃止及び新たに制定し、全体が明確となるよう一括して取りまとめるものです。

これにより、本協議会の定款及び関係法令に基づき、各種会議等に関し、基本的な事項を明文化し、適法かつ円滑適切な運営等を図り、もって、本協議会の事業を適正かつ円滑に推進しようとするものです。

また、本協議会と密接な関係のある協議会等については、本協議会の関係機関に位置付け、一体的な運営等を図るようにするものです。

（内容）

本協議会の理事会及び委員会の運営規則並びに青年部の会則については、本協議会の法人化に合わせ制定されていますが、不備な項目、実態と合わない項目等があることから改廃を行うものです。

また、監事監査に関する規定、ブロック幹事・副幹事に関する規定及び3役会に関する規定については、規定がないことから新たに制定するものです。

さらに、白井工業団地地区まちづくり協議会に関する規約については、本来の目的にあったものに改定するとともに、規定のなかった船橋労働基準協会白井支部に関する規定については、新たに独自に設けることとしたものです。

- * 今回の改正等は、委員会、ブロック会議等の充実強化を図ること。三役会議の位置付けを明確にすること。監事監査の強化を図ること。青年部の充実を図ることなどを通じ、運営の透明性と組織の強化を促進するものである。
- * 委員会については、再編をすることとなるため、定款の改正が必要なことから、来年度に再編成を行うこととします。

第4号議事 入会承認の件

議長は、本議事の説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から次の提案があり、直ちに慎重審議した結果、全員一致をもって承認可決した。

下記の入会について、承認を求める。

入会は、2019年3月からとする。

- 1 名称 株式会社マジオネット多摩
- 2 代表者 代表取締役 松本 義孝（まつもと よしたか）
- 3 所在 白井市河原子240-1（本社：日野市、ブロック：第6ブロック）
- 4 業種 サービス業・教育（自動車免許、講習資格等）
- 5 従業員数 205人（全体）

6 協議事項

第1号協議 2019年度新規事業（案）の件

議長は、本協議事項の説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から次の協議の提案があり、直ちに協議した結果、全員一致をもって了承した。

当協議会は、これまで会員企業の親睦・交流・連携に関する事業、白井工業団地における交通・公害等環境対策に関する事業、労働安全に関する事業、従業員の福利厚生に関する事業などを共同して行ってきており、白井工業団地の活性化と地域経済の発展に寄与してきました。

今後これらの事業を継続、拡充していくとともに、さらなる発展を図るため、地域貢献（交流）・支援事業を加え、一般社団法人白井工業団地協議会（白井工業団地）が地域に根差した貢献する団体として、広く認知され、かつ必要とされる有益な団体となることを目指し、以下の事業を新たに行うこととする。

I キャリア教育支援事業の創設（2019年度実施予定）

目的：①地域に貢献する白井工業団地の知名度向上を図る。

②継続的な地元人材の確保に資する。

③地域社会との交流を推進する。

④企業の地域貢献による地域の活性化を支援する。

⑤その他

事業：市内中学校（5校）へのものづくり、起業化などを含めた社会人・職業人として生きるキャリア教育に関する授業、取り組み等に対する助成制度を創設する。

助成額：1校当たり100,000円を上限とする。

基本額を1校当たり80,000円とし、生徒数や授業内容によって20,000円を限度に加算する。

対象経費：消耗品、教材費、講師謝礼、通信費、交通費、食料費（限度額有り）、

備品購入費（事前承認を要す）、印刷製本費、その他必要な経費
条件：①キャリア教育の一環であること。

②授業（事業）の公表、成果の発表等を行うこと。

③助成事業について、学校だよりなどに掲載し、広く周知すること。

④学校行事に当協議会の役員等を招くこと。

⑤その他

その他：当協議会で協力する事項について

①工場見学、体験学習の受入れ

②講師の派遣（各企業の紹介や経営理念などの説明など）

③その他資料や製品等の提供など

II 夏祭りの支援拡充（2019年度関係者協議、2020年度実施予定）

現在、夏祭りは、地元の白井工業団地自治会と共同して実施していますが、自治会会員の高齢化や会員の減少等によりこれまでのような体制が維持できなくなっています。

この夏まつりは、長年にわたり地域の大事なコミュニティイベントとして、また白井工業団地との交流の場として行われてきたことから、これを絶やさず、かつ活性化することが今後の使命となってきました。

当協議会においては、これらの課題を解決し、当協議会が中核となって地域交流を進めることが地域から求められていると捉えております。

このことから当協議会では、交流範囲を白井工業団地が関わる周辺自治会（白井第2小学校区全体・10自治会）に拡大し、市のまちづくり施策との協働化を図り、今後の夏祭りの開催にあつては、白井工業団地（当協議会）を中核とした関係自治会と協働で運営する仕組みを新たに構築する必要があります。

具体的には、経費については、市の助成制度の活用と各自治会や地区社会福祉協議会等の関係団体にも一部の負担を広く求めるとともに、協力人員（団体）については、各地区の役員及び地元消防団等の応援を得るなど協力体制を整備し、また、会場については、小学校の参加も得て、地域の中心となる白井第2小学校を利用し、より多くの参加ができるようにするなど、広く参加・協力を求め、関係団体等による実行委員会を組織し効率的で負担の公平化、経費の節減などを図りながら取り組むこととする。

将来的には、この実行委員会の取り組みを拡充し、その他の地域交流事業を展開するなどし、地域から必要とされる地域に根差した、また地域に貢献する白井工業団地協議会となることを目指す。

*参考 2018年納涼盆踊り大会収支

収入：1,040,000円（協賛金、ご祝儀、売上金など）

支出：610,000円（会場設営等運営費、来客用飲食費、駐車場警備、景品代、行事保険料、参加者協力金など）

残金：430,000円（内、西日本豪雨の義援金として150,000円を支出）

次年度へ繰越：280,000円

III 優良事業所等視察研修会の再開（2019年度実施予定・隔年実施）

優良事業所等の視察研修会については、数年前から中止していますが、視察研修会は事業活動の改革や経営の改善等に役立つものであるとともに、参加会員間の交流も促進することから、これを再開し、積極的に優良事業所、研究所、試験場などの視察を行うものとする。

なお、日程は、日帰りで実施し、参加できなかった会員にも情報を発信し、成果

を共有することで、会員の業務改善や経営向上などの一助とする。

- * キャリア教育支援事業については、成果が見込まれるのは、相当先と考えているので、本事業も5年、10年と継続していく予定です。
- * 現在、地元の高校とも調整を図ることとしており、中学校、高校、大学と一連で進める予定です。
- * 夏祭りは、来年度は従来通り進め、2020年には拡充できるよう関係者と協議をしていきます。また、当協議会が2020年に50周年を迎えることからこの記念事業にも位置付けて開催したいと考えています。
- * 優良事業所の視察研修については、経済情勢や技術革新などの状況を見ながら適宜行っていきます。また、会員交流の場としても重要な事業と考えています。

第2号協議 「生産性向上支援セミナー」の実施の件

議長は、本協議事項の説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から次の協議の提案があり、直ちに協議した結果、全員一致をもって了承した。

当協議会では、今年度新たな取り組みとして、千葉職業能力開発促進センター（ポリテクセンター千葉）の支援を受け、業務の効率化・改善、IoTの活用やビジネス機会の拡大など、会員企業の経営改革や課題解決に向けた社員教育に関わる講習会・研修会の一つとして、「生産性向上支援セミナー（組織マネジメント・組織力強化のための管理）」を昨年11月28日・12月7日の2日間にわたり実施したところです。（参加者数：11社17名）

2019年度においては、今年度の受講者のさらなるステップアップに向けたセミナーを計画するとともに、製造業を中心とした生産管理に関するセミナーなどを新たに加えて、2コースとして引き続き実施することとする。

なお、新たなセミナーの実施にあたっては、会員の意見・要望などを聞いたうえでテーマを選定する。

《セミナーの概要》

研修時間：6時間 募集人数：各コース15人以上
経費：助成金及び協議会費 開催時期：8月頃及び11月頃
(セミナーの予定コース)

- ・ステップアップコース：組織マネジメント・組織力強化・「成果を上げる業務改善」、又は「管理者のための問題解決力向上」
- ・新規コース：生産管理・生産管理開発計画・「生産性分析と向上」、又は「生産現場の問題解決」など

- * これまでの技能講習中心の研修から、当協議会の独自事業として会員が求めるセミナーなどの開催を定例的に行っていくこととする。

7 報告事項

議長は、次の報告事項の説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から報告した。

第1号報告 2019年新春賀詞交歓会の結果報告の件

本年の新春賀詞交歓会は、1月11日（金）午後5時30分から開催し、その結果は以下のとおりでした。

開催日時：1月11日（金）17:30～19:30（受付開始：17:00～）

会場：公民センター・旧レストラン

参加者数：99名（来賓34名、会員65名）

収支予算：収支合計 ▲115,357円

収入（会費、祝儀、支援金） 319,000円

支出（料理、飲み物、コンパニオン、駐車場警備、その他雑費）434,357円

主な反省点：

- ・来賓の方などが一か所に集まりすぎていて交流ができなかったもので、会場全体に広がるようテーブル指定をすると良い。
- ・式次第と来賓名簿は、配布すべきである。
- ・料理が大量に残ってしまった。料理が大皿なので近くの者しか取れない。また、サンドイッチなど簡単に食べられるものにしたほうが良い。
- ・開催日は、金曜日だと新年会等とバッティングしやすい。また翌日に片付けられるように木曜日以前が良い。
- ・その他

* 今後、主要な事業については、収支を含めた概要を直近の理事会で報告する。

8 当面の会議・行事予定

(会議)

①第7回定例理事会 3月20日(水) 11:45～ 公民センター・会議室

②ブロック幹事・副幹事全体会議 3月27日(水) 11:30～ 公民センター・会議室
《2019年度》

③監査 4月18日(木) 9:30～ 公民センター・会議室

④第1回定例理事会 4月24日(水) 11:45～ 公民センター・会議室

⑤定時社員総会 5月22日(水) 15:00～ 公民センター・レクホール

(行事等)

①新入者安全衛生教育 4月12日(金) 公民センター・レクホール

②サテライト相談 4月19日(金) 白井工業団地産業振興センター

以上で閉会した。

2019年2月21日

本件議事等の内容を確認し、正しく記載されていることを確認しました。

議事録署名人 副代表理事 白山 良一

監事 尾籠 和彦

監事 堤 信昭